

2017/07/22 根木内観察会 参加者 8 名



トウキョウヒメハンミョウ

見渡す限り、緑、みどり、すっかり真夏の根木内です。

ジャヤナギの下もかき分けないと入れない。オギ、スギナ、ヒルガオ、コセンダン、アレチギシギシ、ワルナスビ、ツユクサなどが入り乱れている。マコモは花、ミクリは実をつけた。

続いて葉の上にトウキョウヒメハンミョウを見つける。小さくて黒いジミな虫で、言われないと見逃してしまいそう。よく見ると土の上にも複数いる。

草の間にはクモの巣があり、ナガコガネグモだ。これも秋になって横縞模様ははっきりするとよくわかるが、まだまだ小さくて見逃してしまいそう。けれどしっかり糸をはって、エサを捉えていた。一人前に巣を揺らしている。次にゴミグモのマイホーム、これは細長い茶色のゴミ様の塊。真ん中ほどに、ちゃんと持ち主が鎮座していた。イオウイロハシリグモも見つかる。アシが長く糸をはらないクモだ。



ゴミグモ



桑の枝が白くなっている所にはアオバハゴロモの成虫と幼虫がいた。一緒にベッコウハゴロモの親子もおり、その幼虫は飾りものをユラユラさせて今にもサンバのカーニバルに参加しそうな様子。

←アオバハゴロモとベッコウハゴロモ

良く見ると、それぞれの幼虫と成虫が映っています。



シオカラトンボ、オオシオカラ、コシアキトンボ、ナツアカネ、先月に続いてハグロトンボ、真っ赤なショウジョウトンボ、アゲハ、キアゲハ、ヤマトシジミ、コムスジ、モンシロチョウなどが飛び交いニイニイゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミと虫たちもすっかり夏模様。

ムクドリ、ウグイスも健在。

全身真っ赤なショウジョウトンボ

先月の報告で「田んぼの中にはアメリカアゼナ」としたが、これは在来種のアゼナではどの指摘があった。田んぼの草取りをしながら鋸歯の有るなし、葉柄は？とじっくり見たそうで、今回参加してくれた植物が専門の学生さんにも見てもらった。確かに鋸歯なし、葉柄なしで、アゼナでしょう、ということになった。すると中に鋸歯のあるものが一本見つかり???持ち帰って調べてもらうことにした。

いくつもの鋭い目があることで、私たちの観察も確かになっていく。今日は新しい人、久しぶりの人の参加もあり、虫にも目をむけることができ楽しい会になった。

他にマツカサススキ、ミコシガヤ、ヒメクグ、イ、コゴメイ、ヒメガマの穂、ヒメジョオン、ケキツネボタン、ソクズ、ヤブミョウガ、タカサブロー、イヌタデ、オオイヌタデ、オカトラノオの花など、タコノアシ、セリ、カントウヨメナは花をつけ始めたばかりの様子。

藤だなにはキジバトがひっそりと座っている。今年もここで子育てをするのかな。